

第 2 回検討会における主な意見について

リチウムイオン蓄電池に係る危険物規制に関する検討会（第 3 回）

消防庁危険物保安室

リチウムイオン蓄電池に係る危険物規制等について

- 新しい技術に対して、新たに基準を定めるのでは、時間がかかりすぎる。個別に第三者機関の評価を受け、許可申請するような制度が必要。
- 火災等のリスクを第三者機関で評価してもらう制度は良いと感じる。その際に当該機関がどれだけの知見や能力を持ち、どのような判断基準で評価するのには注意しなければならない。
- 国際標準から大きく外れないよう調和が必要である。引き続き、海外の基準に関する情報収集が必要。
- リチウムイオン蓄電池の流通量が増えると確率的に事故は発生する。危険物以外の分野における動向についても注視していく必要がある。